

大阪湾漁場環境速報

平成19年7月9日発行
兵庫のり研究所

時化のため、湾南部の調査点を欠測しました。
(水温) 表層は湾内21~24 台で、平均22.3 。 平年(23.1)比0.8 、 昨年(23.8)比1.5 それぞれ低い。 -10m層は平均21.1で、平年(21.4)比0.3 低い。
(塩分) 表層平均30.34psu(平年 28.38) 。 -10m層平均32.39psu(平年 31.52)。 表層、 -10m層とも平年比0.9~2.0psu高い。
(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均1.7 µg-at/L、リン濃度は平均0.38 µg-at/L。 先月同様、窒素は平年(9.8)よりかなり低く、リンは平年(0.37)並の値を示している。 -10m層(平均)は、窒素5.0 µg-at/L、リン0.57 µg-at/L。 神戸港沖を中心にフィロコプサ(ラフィド藻)による赤潮が観察され、特に神戸空港周辺では海水が褐変していた。 先月、湾奥部で見られたヘテロシグマは減少した。 また、シャトネラがほぼ全域(北部)で認められた(最高:1mlあたり8細胞)。 珪藻は、コシノディスカスが全域で認められたが、小型珪藻は全般に少ない状況。 透明度は平均4.4 m (赤潮域で1.5m)。 pHは表層平均8.73で、赤潮域では9.0以上の非常に高い値を示した。

上段(今回値)	平成19年7月6日調査
中段(昨年値)	平成18年7月12日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温()	塩分(psu)	三態窒素(µg-at/L)	リン酸(µg-at/L)
04	23.4	32.35	3.2	0.16
	22.7	31.71	4.3	0.24
05	21.6	32.39	3.4	0.52
	22.2	32.00	5.7	0.35
06	22.1	31.47	5.9	0.31
	21.3	32.37	3.7	0.51
07	22.1	31.87	6.4	0.33
	22.0	30.63	7.7	0.34
08	22.5	31.70	4.1	0.25
	22.6	31.00	5.0	0.27
09	22.7	31.64	3.2	0.17
	23.0	30.95	4.1	0.22
10	23.0	32.57	3.9	0.20
	22.7	32.08	3.7	0.20
11	24.5	29.99	2.1	0.06
	23.7	30.03	5.5	0.65
12	22.7	31.30	0.3	0.28
	25.7	27.33	2.0	0.06
13	24.3	28.13	10.5	0.42
	26.2	25.28	2.8	0.09
14	24.4	27.92	15.0	0.65
	23.9	24.63	0.2	0.29
15	25.1	25.38	2.7	0.09
	23.6	24.68	16.2	0.42
16	25.9	22.30	15.6	0.26
	24.1	26.42	46.3	1.59
17	24.7	15.78	49.3	1.77
	24.9	23.43	5.0	0.14
18	24.3	19.85	42.2	1.13
	22.1	31.17	0.7	0.34
S1	24.3	28.23	2.1	0.12
	22.8	28.33	9.8	0.40
S2	23.4	27.99	0.6	0.25
	24.2	28.05	2.6	0.08
S3	23.4	26.55	10.9	0.36
	21.2	32.50	3.3	0.46
S4	23.3	30.70	2.0	0.11
	23.6	28.88	7.7	0.33
S5	23.5	32.42	2.7	0.15
	22.4	32.19	4.6	0.28

